

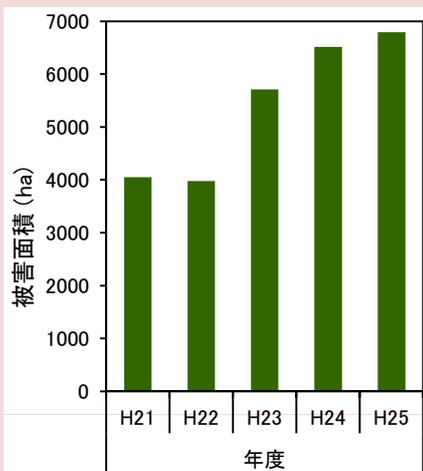
ニホンジカによる森林被害防止対策

ニホンジカによる森林被害の防止に向け、広域的な分布情報の発信、被害防止対策の実証、個体数管理への協力等に総合的に取り組みます。

背景

- 全国規模でニホンジカの生息数が急速に増加しており、それに伴って森林被害も増加しています。

ニホンジカによる森林被害面積の推移 (全国)



(出典) 林野庁「各獣別森林被害面積の年度推移」



群れで移動するニホンジカ



背が届く範囲に均一に被害が発生 (滋賀県)



食害により10年間のうちに植生が喪失 (熊本・宮崎県境、上:1997年 下:2009年)

- 東北森林管理局管内においてもニホンジカの分布が拡大しています。造林地では摂食等の被害が発生し、白神山地等の自然植生への影響が懸念されます。



苗木への食害 (遠野支署管内)

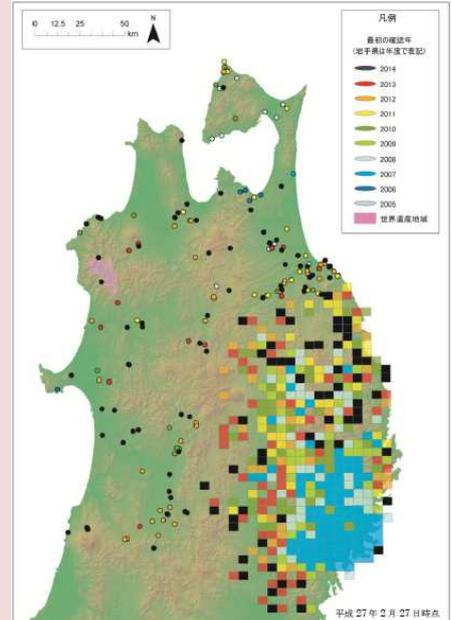


樹皮剥ぎ被害 (遠野支署管内)



白神山地世界遺産地域周辺で撮影されたニホンジカ (津軽署管内)

北東北3県におけるニホンジカ情報



注) 岩手県は2013年度までの5kmメッシュごとの目撃・捕獲情報 (出典) 第10回白神山地世界遺産地域科学委員会資料

ニホンジカによる森林被害防止対策



【平成27年度の取組予定】

●分布情報等の収集とホームページでの情報発信

東北森林管理局の広域的な組織力を活かし、県境を越えたニホンジカの分布状況や植生への影響についての情報収集を継続して行います。

収集した情報はホームページを通じて公開することにより、地域に広く情報提供するとともに、関係機関の情報と組み合わせた効率的な被害防止対策の検討に活用します。



HPでの分布情報公開のイメージ

●白神山地世界遺産地域におけるニホンジカ対策

世界遺産地域への生息範囲拡大が懸念されるニホンジカのモニタリング体制を、環境省とも連携して強化します。さらに、白神山地世界遺産地域科学委員会等を通じて専門家の意見を伺いつつ、必要な対策について関係機関と連携して検討します。



白神山地周辺に設置したセンサーカメラ

●造林地における被害防止対策の実証

ニホンジカによる造林木への被害防止対策について、効果やコストの実証に取り組み、地域や被害状況に応じた効率的な被害防止対策を検討します。



侵入防止柵

●効率的な捕獲に向けた調査・実証

ニホンジカの新たな捕獲手法等についての調査・実証をモデル的に実施することで、効率的・効果的な捕獲のための技術開発に協力します。

(モデル的に実施する調査・実証の例)



GPSを用いた行動追跡調査のイメージ



簡易囲いワナの実証試験

●個体数管理のための狩猟者支援

地域の協議会等を通じて関係者との連携を深め、必要に応じた冬季の林道除雪等により狩猟者を支援することで、ニホンジカの個体数管理に協力します。



林道の除雪(遠野支署管内)